



BASS2

取扱説明書





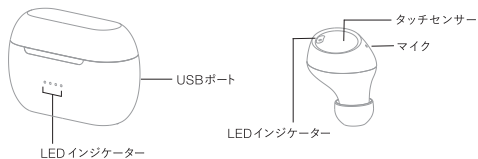
イヤホン本体



充電ケース

イヤピース
(final TYPE E
完全ワイヤレス専用仕様)USB Type-C
充電用ケーブル

各部の名称



充電する

充電ケースを充電する：

付属の充電用ケーブルUSB Type-Cコネクタを充電ケースのUSBポートに接続し、USB Type-Aコネクタを同形状のコネクタを有する電子機器やアダプターに接続すると充電ケースの充電が開始されます。充電中は充電ケースのLEDインジケータが電池残量に応じて、下表のように点灯します。

充電ケースの電池残量	充電ケースのLEDインジケータ	● 点灯 ● 点滅 ○ 消灯
0～25%	● ○ ○ ○ ○	
26～50%	● ● ○ ○ ○	
51～75%	● ● ● ○ ○	
76～99%	● ● ● ● ●	
100%	● ● ● ● ●	

イヤホンを充電する：

充電ケースにイヤホンを受納してふたを閉めると、イヤホン本体の電源が自動でOFFになり、充電が開始されます。このとき充電ケースの電池残量に応じて充電ケースのLEDインジケータが下表のように約5秒間白く点灯します。

充電ケースの電池残量	充電ケースのLEDインジケータ	● 点灯 ○ 消灯
0%	○ ○ ○ ○ ○	
1～25%	● ○ ○ ○ ○	
26～50%	● ● ○ ○ ○	
51～75%	● ● ● ○ ○	
76～100%	● ● ● ● ●	

その後、イヤホンの収納状況に応じて、充電ケースのLEDインジケータが下表のように約5秒間白く点灯します。

充電ケースの電池残量	充電ケースのLEDインジケータ	● 点灯 ○ 消灯
左右のイヤホンが収納されている場合	● ○ ○ ○ ●	
左側のイヤホンのみが収納されている場合	● ○ ○ ○ ○	
右側のイヤホンのみが収納されている場合	○ ○ ○ ○ ●	

※イヤホンを受納しても、LEDインジケータの両端が上表の様点灯しない場合は、該当のイヤホンの電源がOFFになっておらず、充電が開始されませんので、収納し直してください。

電源をONする

充電ケースのふたを開けると、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間白く点灯し、イヤホンの電源が自動でONになります。このとき、充電ケースの電池残量に応じて充電ケースのLEDインジケータが約5秒間点灯します。充電ケースのLEDインジケータについては、P.3の「イヤホンを充電する」をご確認ください。

※充電ケースのふたを開けても充電ケースのLEDインジケータが点灯しない場合、充電ケースの電池残量が0%の状態なので、速やかに充電してください。

電源がOFFになっている場合、タッチセンサーに約3秒間触れ続けると、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間白く点灯し、電源がONになります。

※片側ごとに操作が必要です。

電源をOFFする

充電ケースの電池残量が十分な場合、イヤホンを充電ケースに収納してふたを閉めると、イヤホン本体の電源が自動でOFFになり、充電が開始されます。このとき充電ケースの電池残量に応じて充電ケースのLEDインジケータが約5秒間点灯します。充電ケースのLEDインジケータについては、P.3の「イヤホンを充電する」をご確認ください。

※充電ケースのふたを開けても充電ケースのLEDインジケータが点灯しない場合、充電ケースの電池残量が0%の状態なので、速やかに充電してください。

手で電源をOFFにする場合は、片側のタッチセンサーに約7秒間触れ続けると、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間赤く点灯した後に消灯し、両側のイヤホンの電源がOFFになります。

※音楽再生時には機能しません。

ペアリングする

お手持ちのスマートフォン等の機器と初めて接続する場合は、ペアリングを行なう必要があります。次回イヤホンの電源をONにすると、前回接続していた機器に自動的に接続されます。



本機を初めてご使用になる場合：

1. 充電ケースのふたを開けると、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間白く点灯し、電源が自動でONになった後、片側のLEDインジケータが白く点滅します。しばらくすると自動でペアリングモードに移行し、片側のLEDインジケータが赤・白に交互点滅します。
2. スマートフォン等のBluetooth機能をONにし、画面に「ag_BASS2」が表示されたら選択します。接続する機器の画面に、「ag_BASS2 接続済み」※1と表示されましたらペアリングは完了です。

ペアリングをやり直す場合/2回目以降の機器とペアリングする場合：

1. 既に本機とペアリングされているスマートフォン等の機器のBluetooth機能をOFFにしてください。
2. 充電ケースのふたを開けると、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間白く点灯し、電源が自動でONになった後、片側のLEDインジケータが白く点滅します。しばらくすると自動でペアリングモードに移行し、片側のLEDインジケータが赤・白に交互点滅します。
3. スマートフォン等のBluetooth機能をONにし、画面に「ag_BASS2」が表示されたら選択します。接続する機器の画面に、「ag_BASS2 接続済み」※1と表示されましたらペアリングは完了です。

※1: スマートフォン等の機器によって表示が異なる場合がございます。

		L	R
ノイズキャンセリングON/OFF		約1秒間長押し	—
音楽	再生	1回タップする	
	一時停止	1回タップする	
	音量を上げる	—	2回タップする
	音量を下げる	2回タップする	—
	次の曲へ	—	3回タップする
曲の先頭に戻る または前の曲へ※1	3回タップする	—	
着信	着信受話	2回タップする	
	通話終了	約1秒間長押し	
	着信拒否	約1秒間長押し	
Siri/ Googleアシスタント	起動する※2		約2秒間、電子音が鳴るまで 触れ続けてから離す

※1: 曲の開始直後に操作すると前の曲、曲の途中で操作するとその曲の初めに戻ります。
曲の途中で前の曲に戻る場合は連続して2回操作してください。

※2: 接続する機器によっては、機能しない場合があります。

片耳モードについて

イヤホンを片側のみで使用する際は、片側のイヤホンを充電ケースから取り出し、もう片方のイヤホンを充電ケースに収納してふたを開けてください。イヤホンの電源がOFFになっている場合は、片側のみタッチセンサーに触れ続けると、イヤホンの電源がONになり、ご使用になるスマートフォン等の機器と接続して片耳モードとしてご利用いただけます。片耳モードとしてご利用になる際は、タッチセンサー操作が通常時と異なり、下表ようになります。

		L / R
音楽	再生	1回タップする
	一時停止	1回タップする
着信	着信受話	2回タップする
	通話終了	約1秒間長押し
	着信拒否	約1秒間長押し
Siri/ Googleアシスタント	起動する	約2秒間、電子音が鳴るまで 触れ続けてから離す

リセット方法について

ペアリングがうまくいかなかった場合や、予期せぬエラーが発生して正しく動作しない場合は、以下の手順でイヤホン本体がリセットされます。リセット完了後、再度ペアリング操作をお試しください。

- イヤホン本体を充電ケースに収納した状態で、片側のイヤホンのタッチセンサーに約7秒間触れ続け、イヤホンの電源をOFFにしてください。このとき、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間赤く点灯してから消灯します。
- 両側のイヤホンのタッチセンサーに約8秒間、白のLEDインジケータが点灯状態になるまで触れ続けてください。
- 両側のイヤホンのLEDインジケータが白く点灯している状態で、両側のタッチセンサーを2回タップしてください。その後、両側のイヤホン本体のLEDインジケータがピンクに3回点滅した後、赤く点灯し、電源がOFFになります。
- 再度イヤホンのタッチセンサーに約5秒間触れ続けると、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間白く点灯して電源がONになるので、指を離してください。その後、片側のイヤホンのLEDインジケータが赤・白の交互点滅となり、ペアリングモードに移行します。この状態でリセットが完了です。




※リセットが完了すると、工場出荷時の状態となり、イヤホン側に記憶されていたスマートフォン等の機器とのペアリング情報も削除されます。そのため、スマートフォン等の機器で本機のペアリング情報を削除したうえで、再度ペアリングをやり直してください。

イヤピースについて

低音を感じにくい、高い音が耳障りに感じる場合は、イヤピースの装着が合っていない可能性があります。イヤホン設計通りの音質で楽しむためには、イヤピースを正しく装着し、耳道内が密閉された状態で使用することが重要です。正しく装着するために以下の方法をお試しください。

- 標準で付いているMサイズだけでなく、様々なサイズを試してみる。
- 耳が小さい場合には、Sサイズを試すだけでなく、逆にLサイズも試してみる。
- 耳道の大きさは同じ人でも左右で異なるため、左右で異なるサイズのイヤピースを試してみる。

本項目には製品を安全にご使用いただくための重要な注意事項が示してあります。ご使用前によくご確認ください。

	危険 この表示の注意事項を守らないと使用者が死亡または重傷を負います。
	警告 この表示の注意事項を守らないと使用者が死亡または重傷を負う原因となります。
	注意 この表示の注意事項を守らないと使用者が軽傷、または周囲に物的損害を与える可能性があります。

危険



火災・感電・発熱・発火・液漏れ・破裂・誤飲により死亡や失明、大けがの原因になる可能性があります。



湿気や埃の多い場所、直射日光が当たる場所、車の中など高温になる場所での使用・保管・放置をしないでください。本体の異常な発熱や液漏れ、破裂の原因になります。



充電ケースまたはUSBケーブルが濡れた状態で充電をしないでください。ショートによる異常な加熱や故障の原因になります。



付属のUSBケーブル以外を使用しないでください。破裂や電池の液漏れ、発熱などにより、火災や怪我、周囲の汚損の原因になります。



火の中に入れてください。液漏れや破裂により、怪我や周囲汚損の原因になります。



1ポートあたりの最大出力が20Wを超える急速充電アダプターには接続をしないでください。破裂や電池の液漏れ、発熱などにより、火災や怪我、周囲の汚損の原因になります。



分解しないでください。分解による故障の原因になります。



イヤホン本体もしくは充電ケースから液体が漏れていることを確認した場合、もしくは異常・発熱がある場合には、直ちに使用を中止し、液体には触らしないでください。また近くに火気及び可燃物があるときは速やかに遠ざけてください。

警告



火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因になる可能性があります。



自動車やバイク、自転車などの運転中にイヤホンを使用しないでください。交通事故の原因になります。



踏切や横断歩道、駅のホームなど周囲の音が聞こえないと危険な場所で使用しないでください。イヤホンの音量を上げると周囲の音が聞こえにくくなります。また、本機はノイズキャンセリングを搭載しているため、警告音なども聞こえにくくなり、事故や怪我の原因になります。



充電ケース内部に水や異物を入れしないでください。充電ケースは防水ではありません。水や異物が入った場合、火災や感電の原因になります。万が一、水や異物が入った場合は、直ちに使用を中止してください。また、充電ケースの端子部に異物が付着すると発熱や火災の原因となりますので、定期的に異物の付着が無いかをご確認ください。



本機を布団などで覆った状態で充電しないでください。熱が籠ることで異常な発熱を起こし、火災の原因になることがあります。

注意

怪我や周囲の家具に損害を与える可能性があります。



子供や監督を必要とする方などの手の届くところには置かないでください。本機は磁石及び電池を使用しています。小さな部品を飲み込むと窒息の危険性や内臓を傷つけるなど深刻な症状を引き起こす恐れがあります。



イヤピースはしっかりと取り付けてください。イヤピースがしっかりと取り付けられていない場合、使用中に外れて耳道内に残る場合があります。



医療機関内や医療機器を使用している方の近くで使わないでください。ペースメーカーなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。



大音量で長時間聴かないでください。長期にわたる過剰な音量での使用は永久的な難聴を招く恐れがあります。80 dB (A) の音量で40時間/週、89 dB (A) の音量で5時間/週を超えないようにしてください。



本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響することで、事故の原因になる恐れがあります。

問題点	原因	対処法
イヤホンの電源がONにならない	(ご購入直後の場合) 電池残量が少ない	内蔵バッテリーは、海外からの輸送の安全のため、法令に基づき工場出荷時にフル充電にすることができません。そのため、お客様が開封された際に動作に必要な電圧を下回ることがございます。ご使用の前にフル充電してください。 充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
	イヤホンの電池切れ	イヤホンを充電ケースに収納し、ふたを閉めて充電してください(充電ケースも充電切れの場合、まずは充電ケースを充電してください)。 充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
	充電ケースの電池切れ	充電ケースのふたを閉閉しても充電ケースのLEDインジケータの反応が無い場合は、充電ケースの電池残量が完全に無くなった状態を表しています。このとき、イヤホン本体の電源は自動でONになり、イヤホン本体の電池残量も少ない場合がありますので、イヤホンを充電ケースに収納して充電ケースを充電してください。 充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
イヤホンの電源がOFFにならない	誤操作のためエラーが発生している	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.7の「リセット方法について」をご確認ください。
	充電ケースの電池残量が少ない	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになりますが、OFFにならない場合、充電ケース自体の電池残量が十分でない場合がございます。充電ケースを充電した後に、再度お試しください。充電方法については、P.3の「充電する」をご確認ください。
	充電ケースのふたが閉まっていない/ 付属のイヤークリップ以外を使用している	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、付属のイヤークリップ以外をご使用の場合、充電ケースに干渉して充電が満足にできず、電源がOFFにならない場合がございます。付属のイヤークリップで正常に動作するかご確認ください。

問題点	原因	対処法
ケースに収納しふたを閉じてもスマートフォン等の機器に接続されてしまう	充電ケースの電池残量が低下している	イヤホンが充電ケースに収納されている際、充電ケースの電池残量が低下すると、イヤホンの電源が自動でONになり、スマートフォン等の機器に自動的に接続する場合があります。充電ケースはこまめに充電してください。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
イヤホンが充電できない	イヤホンの金属接点が充電ケースのピンと接触していない	金属接点と充電ケースのピンとの接触具合が十分であることをご確認ください。また、イヤホン本体や充電ケースの金色の端子が皮脂等で汚れていると充電できなくなることがあります。汚れは目視ではほとんど確認できないものですので、乾いた綿棒でやさしく拭き取ってください。
	充電ケースの電池残量が少ない	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、開始されない場合、充電ケース自体の電池残量が十分でない場合がございます。充電ケースを充電した後に、再度お試しください。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
	付属のイヤークリップ以外を使用している	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、付属のイヤークリップ以外をご使用の場合、充電ケースに干渉して充電が満足にできない場合がございます。付属のイヤークリップで正常に動作するかご確認ください。
イヤホンの検索/ペアリングができない	イヤホンがペアリング状態にならない (一度ペアリングを行なった場合)以前接続した機器に自動的に接続されている	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.7の「リセット方法について」をご確認ください。 以前ペアリングされた機器のペアリング情報を削除してから、再度ペアリング操作を行なってください。

問題点	原因	対処法
片側しか音が出ない	左右間のイヤホンのペアリングが解除されている	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.7の「リセット方法について」をご確認ください。
	片側のイヤホンの電池が切れている	電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを取納してイヤホン本体を充電してください。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
イヤホンの片側だけ電池消費が早い	仕様が、片側が親機、もう一方が子機となり、左右間で負荷が異なる	Bluetooth イヤホンはその仕様上、一般的に片側が親機、もう一方が子機となっており、子機側のイヤホンは親機との通信のみ、親機側は子機との通信に加え、スマートフォン等の機器とも通信を行なっております。そのため、それぞれの負荷が異なるため、電池消費にも差が生じる場合がございます。
充電に時間がかかる	充電に使用しているUSBアダプターの出力が低い	PC等のUSBポートをご使用いただいている場合、出力が低く、公称値よりも充電に時間がかかる場合がございます。そのため、本製品を充電される際は、5V/1AのUSBアダプターをご使用ください。
タッチセンサーが機能しない	タッチセンサー部に汚れ・水滴等が付着している	タッチセンサー部に汚れや水滴が付着している場合、タッチセンサーが正常に機能せず、イヤホンの操作ができない場合がございます。タッチセンサー部を乾いた柔らかい布で拭き、汚れや水滴を取り除いてください。
音楽再生中に音(接続)が途切れる	外的要因により干渉を受け、接続状況に影響が出ている	Bluetoothは、2.4GHzの帯域を使って通信を行なっております。この帯域は、Wi-Fiなどさまざまな無線規格で使われておりますので、それらの干渉を受ける可能性があります。また、この2.4GHz帯は水分に吸収されやすい帯域です。湿度や雨天による影響を受ける場合がございます。なお、人体にも水分が多く含まれますので、頭部の大きさにより接続性に個人差がございます。ご自宅では周囲の使用していないWi-Fi/Bluetoothの設定をOFFにする等が対策となります。外出中であれば、靴の中のスマートフォン等の機器を胸ポケットに移動させる等、機器同士の距離を近づけることで接続状況が改善される可能性があります。

問題点	原因	対処法
ノイズ キャンセリングの効きが悪い	イヤーピースのサイズが合っていない	イヤーピースのサイズが合っていない場合、ノイズキャンセリングが十分に機能しません。標準で装着されているMサイズ以外にも様々なサイズをお試しいただき、最適なサイズでご使用ください。イヤーピースについては、P.7「イヤーピースについて」をご確認ください。
イヤーピースが外れやすい	付属のイヤーピース以外を使用している	付属のイヤーピース以外をご使用の場合、使用中に外れて耳道内に残る場合があります。必ず付属のイヤーピースをご使用ください。

メンテナンス

ダストフィルターに付着したゴミは、安全について十分ご注意ください。たとえば綿棒の先端にゴミを付着させるかたちで、ゴミが内部に落下しないようやさしく取り除いてください。



本機を廃棄するときは

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、各地方自治体の指示に従ってください。また、弊社WEBサイト「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」からもご相談を受け付けています。

本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間中は以下の保証規定に基づき修理いたします。保証はご購入いただいた国でのみ有効です。修理のお申込みは弊社WEBサイト「修理・サポート」ページの「修理申込みフォーム」より行なってください。居住国以外の国でご購入の場合や保証期間後のサポートについては、「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

1. 保証期間内に、取扱説明書に記載の警告、注意書きに従った使用状態で故障した場合には、無償修理させていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合には、有償で修理させていただきます。
 - (1) レシート等、購入日を証明するものをご提示いただけない場合。
 - (2) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者やお客様により改造、分解、修理がなされた場合。
 - (3) 強い衝撃を与えたり、水に濡らした場合。無理な力がかかるような状況下で起こった故障。
 - (4) 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異などによる故障、人災による故障、盗難、ウイルス感染による故障。
 - (5) 筐体表面の傷の修理、筐体自体の修理。
3. 本製品のご使用により、お客様に生じた損害については、弊社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、弊社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

弊社WEBサイト画面下部のチャットアイコンより「よくあるご質問」をご参照いただくか、「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

final-inc.com/pages/top_ag

製造：株式会社final

※仕様変更の可能性がございますので、最新の取扱説明書は以下のQRをスキャンしてご確認ください。



https://final-inc.com/products/bass2_ag#download